

株主のみなさまへ

第111期

# 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日



株式会社 日新

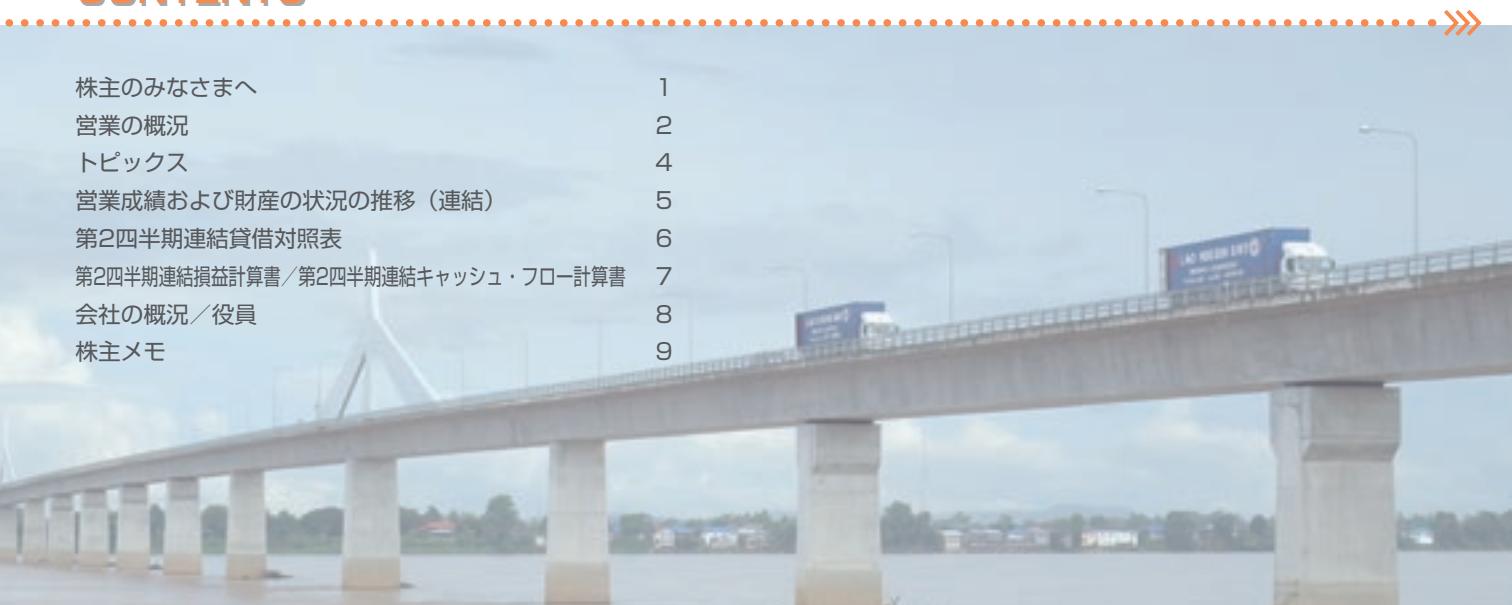
# 経営の基本方針

当社グループは、社名の由来である「日々新たに、また、日に新たなり」の精神を基本に、自己革新を続けながら、安全・迅速・低コストに高品質な物流・旅行サービスを提供することで、豊かな社会の実現に貢献するとともに、お客様との間に信頼を築き上げながら企業価値を高め、株主をはじめとするすべてのステークホルダーのご期待に応えることを経営の基本方針としています。

この基本方針を実現するために、当社グループは、経済・社会の発展に不可欠である物流事業をはじめ旅行業などの関連事業を、企業倫理・法令遵守の徹底および地球環境保全への積極的な取り組みなど企業の社会的責任（CSR）を果たしながら、グローバルに展開していくことを目指しています。

## CONTENTS

株主のみなさまへ	1
営業の概況	2
トピックス	4
営業成績および財産の状況の推移（連結）	5
第2四半期連結貸借対照表	6
第2四半期連結損益計算書／第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
会社の概況／役員	8
株主メモ	9



# 株主のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第111期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の営業の概況をとりまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

当社は、当社グループの強みである海外ネットワークと国際物流を活かした新たなビジネスモデルを、グループ一体となって創出し続けることで、更なる飛躍と持続的成長を目指してまいります。

当年度の中間配当金につきましては、1株当たり28円とし、本年12月5日を支払開始日とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長  
最高経営責任者 (CEO)

筒井 博



代表取締役社長  
業務執行責任者 (COO)

筒井雅洋

## 会社の概要

株式会社 日新

NISSIN CORPORATION

本 店 横浜市中区尾上町六丁目81番地  
☎045-671-6111  
東京事務所 東京都千代田区三番町5番地  
☎03-3238-6666

設 立 1938年12月14日  
資 本 金 60億9,726万3,500円  
(2019年9月30日現在)  
ホームページ <https://www.nissin-tw.com/>

# 営業の概況

## 当第2四半期の経営成績の概況

### ① 当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間は、収束の見えない米中貿易摩擦による世界経済の同時減速が鮮明化しました。日本においても貿易貨物の輸出が低迷し、特に輸出航空貨物は全路線で前年割れとなりました。

このような状況下、当社グループでは3年目に入った第6次中期経営計画を力強く推進、重点分野である自動車、化学品・危険品、食品を中心とした物流事業に注力しましたが、世界経済減速の与える業績への影響は避けられませんでした。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比5.5%減の103,408百万円、営業利益は前年同期比32.8%減の1,897百万円、経常利益は前年同期比29.2%減の2,309百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比33.9%減の1,455百万円となりました。

### ② セグメントの業績

#### イ. 物流事業

日本では、重点分野の化学品・危険品の取扱いが計画を上回る成績となりました。倉庫事業も堅調に推移しましたが、航空・海上輸出入取扱量が減少しました。

海外においては、米州はメキシコの復調もあり増益となりましたが、欧州、アジア、中国の各地域は貨物の減少に伴い、フォワーディング事業と倉庫事業が低迷しました。

この結果、売上高は前年同期比5.7%減の72,379百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比41.3%減の1,192百万円となりました。

#### ロ. 旅行事業

海外団体旅行、教育関連旅行、MICE、インバウンド旅行などの取扱いは順調に推移しましたが、主力の業務渡航の取扱いは前年同期比で約10%の減少となりました。また、事務機器の入れ替え等で費用が発生しました。

この結果、売上高は前年同期比5.4%減の30,418百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比32.2%減の239百万円となりました。

#### 八. 不動産事業

京浜地区における商業施設、駐車場などの不動産事業が堅調に推移しました。また大型修繕工事に伴う監理業務、不動産仲介業務も利益に寄与しました。

この結果、売上高は前年同期比5.5%増の857百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比5.9%増の458百万円となりました。

通期の連結業績見通しは、次のとおりです。

#### 連結業績見通し

売上高	211,000 百万円	(前期比 3.2%減)
営業利益	4,000 百万円	(前期比 29.8%減)
経常利益	4,700 百万円	(前期比 28.6%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,300 百万円	(前期比 25.4%減)

#### 事業別の売上高の推移

部 門	第 110 期		第 111 期第 2 四半期 (累計)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
物 流 事 業	154,673	70.9	72,379	70.0
旅 行 事 業	62,187	28.5	30,418	29.4
不 動 産 事 業	1,633	0.7	857	0.8
調 整 額	△454	△0.2	△246	△0.2
合 計	218,040	100.0	103,408	100.0

# トピックス

## 台湾に合併会社を設立

当社は、台湾に合併会社「日新日茂国際物流股份有限公司」を設立し、本年6月より営業を開始しました。

同社は、現地物流会社との合併会社であり、当社のグローバルネットワークと合併先の物流基盤をもとに、幅広くお客様に高品質で安全な物流サービスを提供できるよう、営業強化に取り組んでまいります。



### ・会社概要

名 称：日新日茂国際物流股份有限公司  
Nissin Global Logistics  
(Taiwan) Co.,Ltd.  
所 在 地：桃園市龜山区頂湖五街18-1号  
No.18-1 Dinghu 5th Street,  
Guishan District, Taoyuan City  
333 Taiwan, R.O.C.  
資 本 金：50,000千台湾ドル

## 九州日新 アイランドシティロジスティクスセンターが営業開始

九州日新は、福岡市アイランドシティに新倉庫を建設し、本年9月より営業を開始しました。

同倉庫は、コンテナターミナルや高速道路、貨物ターミナル駅、空港等が近く、交通アクセスに優れております。

今後は、新倉庫と国内外のグループ拠点と連携し、顧客の要望に沿ったサービス・サポート体制をより一層拡充いたします。

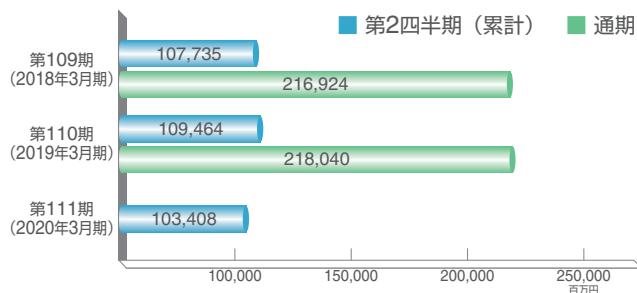


### ・倉庫概要

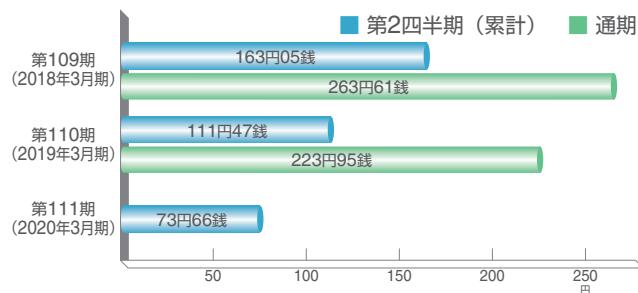
名 称：九州日新 アイランドシティ  
ロジスティクスセンター  
所 在 地：福岡市東区みなと香椎3丁目6番1号  
構 造：鉄骨造5階建（倉庫4階建）  
延床面積：約21,951㎡

# 営業成績および財産の状況の推移（連結）

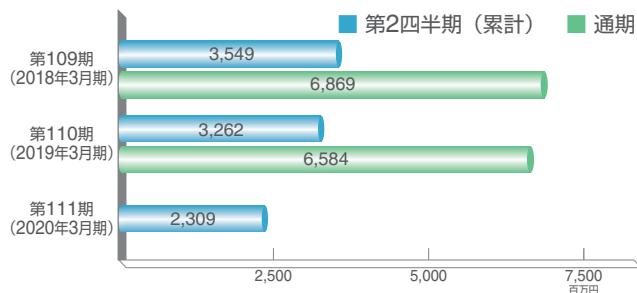
## 売上高



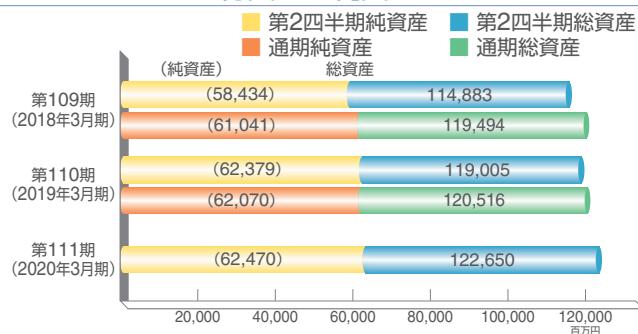
## 1株当たり四半期（当期）純利益



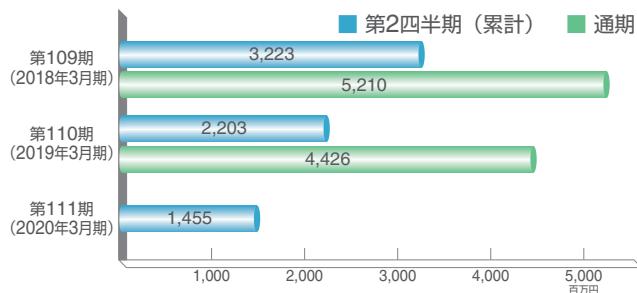
## 経常利益



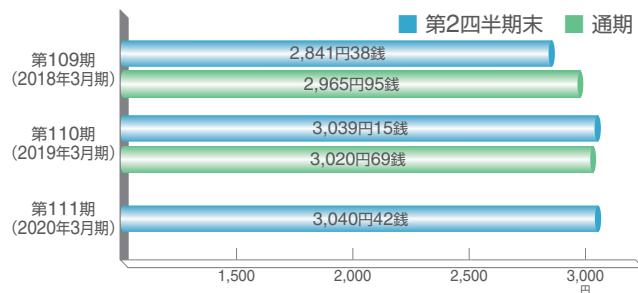
## 総資産・純資産



## 親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



## 1株当たり純資産



# 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (2019年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日現在)
<b>資 産 の 部</b>		
<b>流 動 資 産</b>	<b>55,285</b>	<b>52,464</b>
現金及び預金	19,671	18,706
受取手形及び売掛金	29,363	27,557
その他の	6,363	6,302
貸倒引当金 △	112	△ 102
<b>固 定 資 産</b>	<b>65,230</b>	<b>70,185</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>40,968</b>	<b>46,933</b>
建物及び構築物	15,169	20,697
機械装置及び運搬具	2,681	3,408
土地	20,066	21,206
その他の	3,051	1,621
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>2,715</b>	<b>1,860</b>
投資その他の資産	21,546	21,391
<b>資 産 合 計</b>	<b>120,516</b>	<b>122,650</b>
<b>負 債 の 部</b>		
<b>流 動 負 債</b>	<b>33,384</b>	<b>33,456</b>
支払手形及び買掛金	13,304	11,891
短期借入金	8,391	8,301
その他の	11,688	13,264
<b>固 定 負 債</b>	<b>25,062</b>	<b>26,722</b>
社債	2,000	2,000
長期借入金	15,048	14,439
その他の	8,013	10,282
<b>負 債 合 計</b>	<b>58,446</b>	<b>60,179</b>
<b>純 資 産 の 部</b>		
<b>株 主 資 本</b>	<b>56,756</b>	<b>57,694</b>
資本金	6,097	6,097
資本剰余金	4,711	4,711
利益剰余金	46,664	47,603
自己株式 △	716	△ 717
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>2,948</b>	<b>2,399</b>
<b>非 支 配 株 主 持 分</b>	<b>2,364</b>	<b>2,376</b>
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>62,070</b>	<b>62,470</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>120,516</b>	<b>122,650</b>

## Point ① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少等がありましたが、新倉庫への設備投資や、国際財務報告基準を適用する在外連結子会社のIFRS第16号「リース」の適用により建物及び構築物等の有形固定資産が増加し、前連結会計年度末に比べ2,133百万円増の122,650百万円となりました。

## Point ② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債は、支払手形及び買掛金の減少等がありましたが、在外連結子会社のIFRS第16号「リース」の適用によりリース債務が増加し、前連結会計年度末に比べ1,733百万円増の60,179百万円となりました。

## Point ③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ400百万円増の62,470百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末より0.5ポイント減の49.0%となりました。

# 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売上高	109,464	103,408
売上原価	91,784	87,145
売上総利益	17,680	16,262
販売費及び一般管理費	14,855	14,364
営業利益	2,824	1,897
営業外収益	702	667
営業外費用	264	255
経常利益	3,262	2,309
特別利益	29	140
特別損失	73	117
税金等調整前四半期純利益	3,217	2,333
法人税、住民税及び事業税	1,017	992
法人税等調整額	△ 103	△ 184
四半期純利益	2,304	1,525
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	69
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,203	1,455

# 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,738	3,656
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,834	△ 1,943
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,368	△ 2,498
現金及び 現金同等物に係る換算差額	△ 284	△ 220
現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,748	△ 1,005
現金及び 現金同等物の期首残高	17,106	17,846
連結子会社の決算期変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	905
現金及び 現金同等物の四半期末残高	15,357	17,746

## Point ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは3,656百万円の収入となり、前年同期に比べ918百万円収入が増加しました。その主な要因は、在外連結子会社のIFRS第16号「リース」の適用による減価償却費の増加や、売上債権が減少したこと等によるものであります。

## Point ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは1,943百万円の支出となり、前年同期に比べ890百万円支出が減少しました。その主な要因は、固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

## Point ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは2,498百万円の支出となり、前年同期に比べ1,129百万円支出が増加しました。その主な要因は、在外連結子会社のIFRS第16号「リース」の適用によりリース債務の返済による支出が増加したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の残高は17,746百万円で、前連結会計年度末に比べ99百万円の資金の減少となりました。

# 会社の概況

## 株式の状況

(2019年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数 40,000,000株  
 ②発行済株式総数 20,272,769株  
 (うち自己株式 468,087株)  
 ③株主数 3,595名  
 ④大株主(上位10名)

株 主 名	持 株 数
株式会社三菱UFJ銀行	986 千株
株式会社横浜銀行	978
日新商事株式会社	890
日本生命保険相互会社	735
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	724
株式会社三井住友銀行	649
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	615
三菱UFJ信託銀行株式会社	587
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	528
日新社員持株会	488

## 本店・支店

- 本 店  
 横浜市中区尾上町六丁目81番地  
 東京事務所  
 東京都千代田区三番町5番地  
 大阪支店  
 大阪市中央区平野町三丁目4番14号  
 神戸支店  
 神戸市中央区江戸町101番地  
 千葉支店  
 千葉市中央区中央港一丁目9番1号

# 役員

(2019年11月7日現在)

取締役会長 会長執行役員 最高経営責任者 (代表取締役)	筒 井 博
取締役社長 社長執行役員 業務執行責任者 (代表取締役)	筒 井 雅 洋
取締役 専務執行役員	渡 邊 淳 一 郎
取締役 常務執行役員	枅 田 建 二 郎
取締役 常務執行役員	筒 井 昌 隆
取締役 常務執行役員	石 山 知 直
取締役 常務執行役員	鳥 尾 省 利
社 外 取 締 役	藤 本 進
社外取締役 監査等委員(常勤)	藤 根 剛
社外取締役 監査等委員	小 林 貞 雄
社外取締役 監査等委員	増 田 文 彦
常 務 執 行 役 員	櫻 井 秀 人
常 務 執 行 役 員	筒 井 秀 啓
執 行 役 員	尾 野 本 哲 進
執 行 役 員	梅 本 村 一 康
執 行 役 員	木 峯 茂 樹
執 行 役 員	中 嶋 粹 芳
執 行 役 員	川 島 潤 征
執 行 役 員	章 原 一 栄
執 行 役 員	桑 村 智 雄
執 行 役 員	木 南 国 祥
執 行 役 員	桜 井 哲 一
執 行 役 員	稲 勝 志 貴 夫
執 行 役 員	珍 田 昌 一
執 行 役 員	山 田 哲 稔

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.nissin-tw.com/">https://www.nissin-tw.com/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## 各種手続のお申出先

- 未受領の配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等  
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。  
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受け付けております。

ホームページアドレス <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

## ホームページのご案内

<https://www.nissin-tw.com/>

最新の情報は当社ホームページで  
ご覧いただけますのでご利用ください。





横浜交易西洋人荷物運送之図 五雲亭貞秀（神奈川県立歴史博物館所蔵）

**NISSIN CORPORATION**

